

1. 年末のご挨拶 (つくる会 会長 原田満洲夫 記)

2021年(令和3年)もあとわずかになりました。今年も会員皆さま活動により、宇部市より維持管理の委託を承けている「里山ビオトープ二俣瀬」を大きな問題もなく維持できました。昨年より隣接する須賀河内川西側の竹やぶもビオトープに反し荒れ放題であったものを我々の手で「竹林」に美観に出来たことは自慢すべき事と会長として感謝します。

昨年に引続いて新型コロナの影響で思ったような活動が困難であったことはゆがめませんでした。年末になって何とか落ち着き年末懇親会も26日出来ました。

今年は河崎会員も市議会議長に選任され宇部市と「里山ビオトープ二俣瀬をつくる会」とのつながりも深くなり、お陰で懇親会には篠崎市長もご参加頂きビオトープの今後の問題点や「つくる会」の進む道の協議が出来ました。

来る令和4年も引き続き皆様方のご賛同をえまして「里山ビオトープ二俣瀬」の発展を祈念いたします

2. 活動報告 (事務局 記)

—12月5日(日)14名の会員が参加し、市道の落ち葉処理、水路周りの落ち葉処理・水路清掃、旧ハス田の除草、除去草の収集・焼却の作業を実施しました。

—12月26日(日)最初に来年度の活動計画について話し合い、昨年は出来なかった懇親会を、猪肉の焼肉を中心にして、時おり小雪の降る中で行いました。宇部市への要望など話し合い、しの笛の演奏などしてもらいました。参加者は、来賓の宇部市長・秘書、川崎議長、永山酒造会長、しの笛奏者の大串さん、二俣瀬市民センター長、岡崎支援員と会員18名の計25名でした。

3. 今後の予定 (事務局 記)

◎行事

—1月2日(日)正月休み

—1月16日(日)維持活動(エコアップ)

4. 来訪者の声

★12月14日(火) (昔お世話になった元一会員より)

久しぶり、5年ぶりくらいでしょうか。皆様、ずっと整備を続けておられ感謝の限りです。退職後は少し顔出しもできるかと思っておりましたが、リタイヤと同時に他県へ引越しし、それもかなわなくなりました。今後の皆様の御健勝をお祈りしています。

5. 会員の声—1 【 奉仕ですっきりと 】 （ 原田満洲夫 記 ）

最近とみに市道車地～田の小野線の不法投棄ゴミが少なくなって来た。特に市内亀浦の「亀浦苑」所有の埋め立て地はバブル時期に川魚料理店を開く為に所有されたと聞く、処がバブルがはじけ現在竹藪になっていた。市道傍まで真竹が繁殖這入りこみその横を通る車はゴミの不法投棄の絶好の場所であったらしい。今までに何度となく宇部警察署に連絡し現認者として警察や宇部市廃棄物対策課との事情調査に付き合ったものである。

あちこちに手回しし個々の事情を所有者に訴えようやく市道から1,5m幅の切り取りを願って11月初め念願がかなったのである。それ以後大きな不法投棄は発生していない。人間の心理で汚いところはさらに汚くても良いという意識や車がゆっくり止まれる場所は考えが甘くなり、あたかも投棄しても問題ないと思うのであろうか？

以前、投げ捨てられていた缶やペットボトルのビニール袋を拾い上げ処理し、今日はいいコトしたと奉仕の気持ちが持てて良かったもののあまりにも度重なって多くなると逆に腹が立って精神的に非常に悪かった事が無くなっていたところであった。

おかげで人の足元に物を投げ捨てられて自宅ではないものの“他人の家を土足で敷居をまたげられた”としたいやな気持ちが無くなってすっきりしたのである。

会員の声—2 【二俣瀬小学校3年生による清掃作業】 （管 哲郎 記）

12月10日（金）10：30～11：30、二俣瀬小学校3年生によるビオトープ内の清掃作業を行いました。これは今年度、二俣瀬小学校の野外環境授業を二俣瀬ビオトープで行ったことに對し、学校側よりのお礼として授業を受けた生徒たちと先生が、ビオトープの維持と発展を願って、これからも継続してゆけるようにと、授業時間を割いて清掃作業に参加していただいたものです。大変ありがたい申し出でした。

ビオトープを作る会より原田会長、藤井、管の3名が対応し、3年生担任の佐久間先生と生徒2名（男子1名、女子1名）で場内、東屋周辺と、ため池清掃で抜かれた草を片付けていただきました。おかげで東屋の周辺はきれいになりました。先生と生徒の皆さんありがとうございました。

清掃の途中で“はぐれ猿”が現れ生徒たちを喜ばせましたが、うっかりと東屋周辺に食べ物やリュックを置いておくと食べられたり中身を取り出されますので、注意が必要になりました。会長以下会員の皆さんも数回以上目撃しています、ビオトープへ来るときには皆さんも注意されてください。



落ち葉はきを行いました



一輪車も上手に使いこなしました



6. ビオトープ関連：「山口県の昆虫たち」 (管 哲郎 記)

(70) アカスジカメムシ *Graphosoma rubrolineatum* カメムシ科

成虫の出現期は5月～10月ですが、九州南部では12月ごろまで見られるようです。赤と黒の縦じま模様は大変わかりやすい色で、きれいなカメムシです。セリ科植物によくつきますので、秋のオミナエシやフランス菊の花にもよく見られるようです。

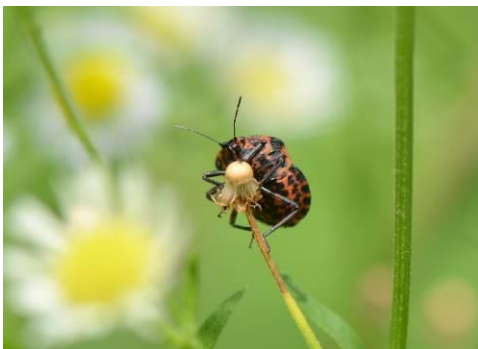
筆者はこれまであまり花には縁がなく見かける機会が少なかったので、多くの個体は見かけていませんが、これからは花にも注意を向けて観察する予定です。



美祿市秋芳町



美祿市秋吉台



美祿市秋芳町青景



長門市油谷

参考文献

岡 俊彦、2005. ポケット版 学研の図鑑① 昆虫、208pp、(株) 学習研究社、東京。
福田晴夫他. 2005. 昆虫の図鑑 採集と標本の作り方、236pp、(株) 南方新社、鹿児島。
三木 卓、2006. 日本の昆虫、255pp、(株) 小学館、東京。

7. 会よりの連絡事項

1) 1月の第一日曜日(2日)は正月休みで、作業などはありません。

16日が令和4年の最初の作業日となります。

8. 編集後記 (前田 歳朗 記)

21日、今年最後のエコアップを行いました。私の一人エコアップは、天気が穏やかな日にしか行いませんが、このような日は虫に刺されることが多く、これが悩みです。さて今年のエコアップは、昨年以上に進みました。稲作を行わなかったため作業日が増えたのと、オオカナダモの除草を行わなかったのが要因です。

しかし来年は稲作が実施される為、今年に比べ作業日数が少なくなります。湿地帯は、秋から冬にかけて除草を行い、水面を開ける必要があります。10月以降の作業日の減少は、これを難しくします。さらに湿地帯の除草は、体力が必要です。私も最近、作業後の膝の痛みが気になり始めました。ビオトープが子供たちの歓声に包まれることは、非常に嬉しいのですが。

もう一つの懸念は、池に繁茂するオオカナダモの除草です。昨年までは春先に除草していましたが、効果がなさそうなので今年は見送りました。しかし幾分アサザの専有面積が減少しているような気がします。もう少し様子を見ようと思っていますが、増えすぎたら非常に面倒なことになります。

一昨年までは、秋に高校生のボランティアによる作業があった為、除草が進みました。しかし最近、コロナもあり実施されていません。昨年の編集後記で述べたように、エコアップのトリアージが必要になるかもしれません。21日には、猿がガマの根っこを振り回して遊んでいました。できれば猿にも手伝ってもらいたいのですが。